

2025 年への医療提供体制確保に向けて

「よこはま保健医療プラン 2018」を策定しました。

計画期間：平成 30（2018）年度～平成 35（2023）年度（6年間）

横浜市では、保健医療分野を中心とした施策の中期的な指針として、新たに「よこはま保健医療プラン 2018」を策定しました。人口減少社会に向かう横浜市において、限りある医療・介護資源の中、子どもから高齢者まで誰もがあんしんして暮らし続けられるよう、施策を推進します。

1 基本的な考え方

「医療計画作成指針」（厚生労働省）に準拠し、5 疾病 4 事業および各種保健医療施策について策定しています。医療法上は都道府県に策定義務がありますが、本市はより地域の実情に即した医療提供体制を構築するため、独自に計画策定を進めています。

これまで、地域中核病院構想に基づく方面別体制整備や救急医療提供体制の構築、全区整備が完了した在宅医療連携拠点など、医療提供体制を独自に整備してきましたが、2025 年問題等を踏まえ超高齢社会の更なる進展などの政策課題に対応するため、本プランに基づき施策を展開します。



策定のポイント

- ▶ ポイント 1：大都市横浜の医療体制の確保 ～病床機能確保・ICT 連携の推進～
- ▶ ポイント 2：在宅医療の新たな展開 ～在宅医支援・増加する医療的ケア児・者等支援～
- ▶ ポイント 3：がん撲滅対策推進条例に基づく「がん対策推進計画」の策定

◆超高齢社会への挑戦 ～地域包括ケアシステム推進に向け医療・介護計画が始動～

平成 30 年度は医療・介護同時改定の年であり、地域包括ケアシステムの構築に向け大きく舵を取る節目の年です。医療介護連携をはじめ、一体となって推進していきます。

	28年度 (2016年)	29年度 (2017年)	30～32年度 (2018～2020年)	33～35年度 (2021～2023年)	36年度 (2024年)	37年度 (2025年)
計画	よこはま保健医療プラン 2013		よこはま保健医療プラン2018		次期プラン	
	第6期高齢者保健福祉計 ・介護保険事業計画		第7期計画	第8期	第9期	
	横浜市中期4か年計画		新たな中期的計画			

2 策定のポイント

▶ ポイント1：大都市横浜の医療体制の確保 ～病床機能確保・ICT連携の推進～

本市は、人口減少局面を迎える一方で更なる高齢化の進展により、医療需要の急増が見込まれます。限りある医療・介護資源の中、効率的で効果的な医療提供体制を構築するため、

- **病床機能の確保及び連携体制の構築**
- **在宅医療の充実**
- **医療従事者等の確保・養成**

などについて、着実に取り組みます。

【参考1】2025年の病床数の推計(横浜市独自推計)

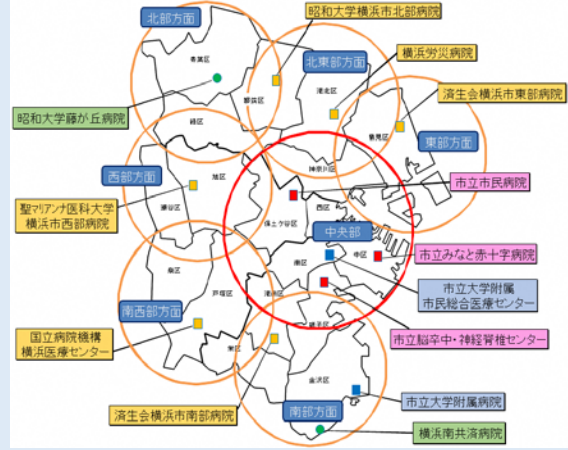
本市の実態に合った推計とするため、全国一律の計算式ではなく、人口や病床利用率など市内実績を活用し推計しました。

	既存病床数	2020年推計	2025年推計
高度急性期	4,198床	3,386床	3,633床
急性期	11,901床	8,642床	9,273床
回復期	2,210床	7,183床	7,708床
慢性期	4,560床	5,174床	5,551床
	22,869床	24,384床	26,165床

※推計値の内訳は按分により算出しているため、合計値と一致しないことがあります。

【参考2】医療提供体制のイメージ

既存の医療資源を活かしつつ、バランスの良い医療提供体制と地域完結型の医療連携体制の構築を進めます。



【主な施策例】

- 不足が見込まれる**回復期・慢性期病床の優先配分**
- **ICTを活用した地域医療連携の構築**と医療従事者の負担軽減

▶ ポイント2：在宅医療の新たな展開 ～在宅医支援・増加する医療的ケア児・者等支援～

在宅医をはじめ、地域医療介護を担う多職種連携の推進や、負担軽減のシステムづくりを進めます。また、保健・医療・障害福祉・保育・教育等による分野横断的な医療的ケア児・者等支援を進めます。

【主な施策例】

- 在宅医療連携拠点事業の充実・多職種連携の強化
- 在宅医負担軽減に向けた**システムづくり**
- 医ケア児・者等支援に向け**コーディネーター配置**

▶ ポイント3：がん撲滅対策推進条例に基づく「がん対策推進計画」の策定

条例を踏まえた「がん対策推進計画」として新たに位置づけ、がん医療の充実や患者支援など、総合的な施策展開を進めます。

【主な施策例】

- **がん診療連携拠点病院等の機能強化**に向けた連携強化
- **働きながら治療を受けやすい職場づくり**の推進
- 小児がん連携病院を中心とした**小児がん医療の充実**
- **アピランス(外見)支援**等、様々な悩みへの支援

3 策定経緯

平成 28 年 11 月～ よこはま保健医療プラン策定検討部会開催 (全 5 回)

(部会長：伏見 清秀 東京医科歯科大学教授 (医療政策情報学))

平成 29 年 10 月～ プラン素案公表、パブリックコメント実施 (33 日間、意見総数 232 件)

平成 30 年 1 月 横浜市保健医療協議会開催 原案確定

平成 30 年 2 月 平成 30 年第 1 回市会定例会にて審議、可決

平成 30 年 3 月 よこはま保健医療プラン 2018 公表

- 詳しくは医療局ホームページをご覧ください (冊子は5月中旬に発行予定です)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/iryo/i-keikaku/>

よこはま保健医療プラン

検索

お問合せ先

医療局医療政策課長 倉本 裕義 Tel 045-671-2438